

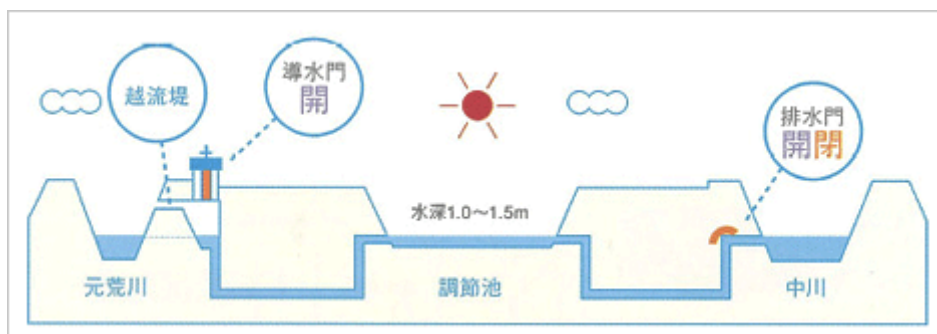
越谷レイクタウンでは、洪水被害から周辺地域を守ることを目的とした広域調節池の整備と計画面積約225.6haの新たな市街地を一体的に整備することにより、水辺空間と都市空間を融合させ、安全性・利便性・快適性に配慮した、うるおいと緑豊かな水辺都市を創造することを目指した世界でも類を見ないまちづくりが行われている。

「越谷レイクタウン」の中心にある大相模（おおさがみ）調節池は、台風などの大雨時には大量の水をここに貯め込み、河川流域の浸水被害を最小限にとどめる役割を果たす。また、洪水の影響がない日は、潮の満ち引きによる水位変化を利用して周辺河川との間に流れをつくり、水質を保つ仕組みだ。気温が高い日には調節池から冷気が周辺に広がり、まちのヒートアイランド現象を抑制する効果もある。

調節池をはじめ、越谷レイクタウンでは環境負荷軽減を目指したさまざまな取り組みが行われている。ほとんどの住まいが駅から徒歩15分圏内にあり、商業・サービス施設も計画的に配置されて、まち全体がクルマの利用を必要としないコンパクトなつくりとなっている。また、幹線道路にはCO₂を排出しない自転車のための専用レーンが設けられているほか、調節池の周囲にはジョギングやサイクリングができる遊歩道「レイクサイドウォーク」が整備され、地域住民の方々が安心して生活を楽しむことができるよう工夫されている。

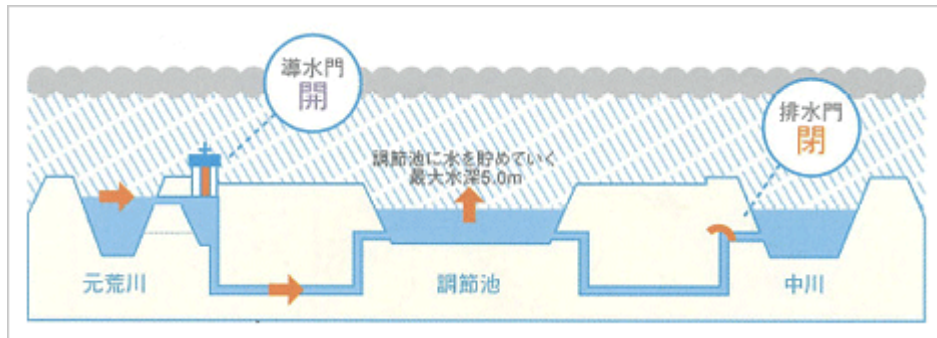
そのほか、地域内の商業施設では国内最大級の規模を誇る太陽光発電施設を導入、また一部の集合住宅で太陽熱を利用したセントラルヒーティングシステムを導入している。いずれもCO₂の排出量削減に大きく貢献している。

こうした取り組みが評価され、越谷レイクタウンは「環境に配慮した住みよいまち」として、環境計画等に対する国際的な表彰制度『リブコム アワード2009』のプロジェクト賞において、日本で初めて金賞を受賞した。



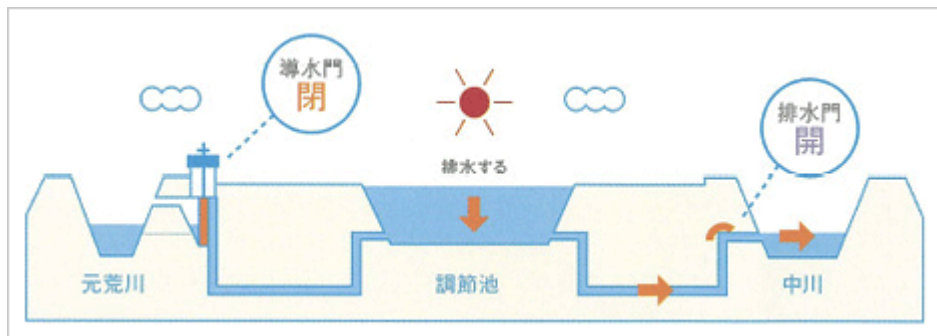
平常時

調節池の余裕容量を確保し洪水時に備えるため、水深は常に1.0～1.5mとしています。浄化用樋管・排水門を開閉することで、水深を保ちます。




大雨等による河川水位上昇時

元荒川に流れ込む大量の水の一部を調節池に貯めます。これにより、浸水被害を及ぼすピークの流量を抑えます。調節池は最大で水深5.0mまで水を貯めることができます。このときの水量は最大約120万 m^3 、50mプール約800杯分にもなります。



河川水位低下後

大雨等がおさまり、中川の水位が低くなったら、調節池にたっぷり貯まった水を中川に流し出し、次の洪水に備えます。

越谷レイクタウン地区のまちづくりの詳細情報はこちらから 
<https://www.ur-net.go.jp/ur-stage/html/area/klt/>

埼玉県内の戸建住宅地の購入をご検討されている方はこちらから 
<https://housing.ur-net.go.jp/takuchi-east/area.asp?ken=11>